

前半では基本的な文章・4択の選択肢問題を中心に基礎力をつけ、
後半では複数テキスト・5択の選択肢問題など幅広い出題形式に慣れる

現代文 論理的文章 問題

問6 本文の論議展開および内容についての説明として最も不適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答欄には「10」

① 留学生活においては、最先端の技術や知識を身につけるだけでなく、日々当然のことだと思っている事柄を見直し、すきかかげが得られると意識しつつも、実社会で創造的思考を高めるには、革新的な知識や矛盾を否定することから入ることが重要だということ、ジョークを交えて説明している。

② 日本的思考を見直し新発想をするためにも異国生活が不可欠であると主張した上で、偏見というメカネをはずすことができない人間の有能性を前提として、既存の知識を新しい知識との矛盾を乗り越えて創造的思考を続けていくべきだと説明している。

③ 異国生活の利益は常識をとらえず直す機会が得られる点に示し、そこで気づいた矛盾を精査する上で、常識から距離を取りつつも専門的な知識に偏ることなく、それぞれの要素が成立するような見方を検討すること、新たな発見には重要である、比較を交えて説明している。

④ ボンカレの例を通して、常識を取り除いて隠れているものを見るためには、郊外で遠く海外で生活したりすることを拒絶すべきだと述べた上で、矛盾が創造を生む泉であることが十分理解し、安易にどこかを拒否しつつ創造性を養うことが重要である、と説明している。

10

現代文 言語活動 問題

2

【資料1】令和5年住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計
(確報集計) 結果より

図1 総世帯数及び増加率の推移—全国（1978年～2023年）

年	総世帯数 (千戸)	増加率 (%)
1978	3545	14.1
1983	3861	8.9
1988	4201	8.8
1993	4588	9.2
1998	5025	9.5
2003	5389	7.3
2008	5795	6.9
2013	6063	5.0
2018	6241	2.9
2023	6502	4.2

※ 統計年未満を含む期間で計算しているため、発表数値による計算とは一致しない場合がある（以下同様）。

図2 空き家数及び空き家率の推移—全国（1978年～2023年）

年	賃貸住宅の空き家数 (千戸)	持ち家の空き家数 (千戸)	公営住宅の空き家数 (千戸)	その他の空き家数 (千戸)	空き家率 (%)
1978	218	195	10	10	2.4
1983	229	155	10	10	2.5
1988	229	155	10	10	2.5
1993	294	155	10	10	2.8
1998	440	187	10	10	3.6
2003	392	202	10	10	5.6
2008	367	219	10	10	7.4
2013	424	219	10	10	8.1
2018	431	219	10	10	8.1
2023	440	219	10	10	9.1

※ 1978年～2002年までは、調査年未満の期間の賃貸住宅の空き家数をもとに計算している。

Mさんは「日本の住宅の現状と展望」をテーマに資料を集めてレポートを書くことにした。
 「資料Ⅰ」は「Mさんが読んだ昔ながらの抜粋本である。Mさんは、資料を集めるな
 らレポートの「構成案」の検討もしている。これを読んで、後の問い（問1～3）に答えよ（配点 20）」

-250-

重要な箇所がわかる解答解説

本文再掲で文章や資料の関連を視覚的につかみ、
選択肢チェックで正答・誤答のポイントを理解できる

漢文 本文再掲

[illegible]

古文選択肢 チェック

① 目に至る前にその効験が表れ、知足院の望みは同事に叶った。地の文に「初行はて、七日しあるに」(e1)とあり、また大権房の会話に「たのもしに」(e2)とあるが、これは「た」とあるところから「たのもし」は微候のうしろ名詞であり、「効験が表れ」とまでは言いえない。

② 大権房の夢の中に美しい女房が現れ、知足院の望みが叶うことを伝えた。美しい女房の夢見したのは、大権房がこれを知足院。女房の会話文に「まじしいかにけ」(e3)とあるが、これは知足院。髪に結れた行巻を受けてのものなので、「望みが叶うことを伝えた」わけではない。

③ これまでに経緯がたことのない新しい効験が表れ、大権房は自慰した。「あらたな」(e4)は形容動詞「あらた」の連体形で、神仏の靈験が著しいことを、「新た」と取り替えるようにした。

④ 望みが叶った知足院は、その後もこの呪法を大切にし、狐の尾も大事に扱った。知足院は大権房から呪法を学び、自らも行ったのだから「大切に」と考えてよい。また「件(の)いき尾は、きまむねに入れてふかく取てにけ」(e5)とある。